

花と緑の銀行だより

187号 2013.5



「富山さくらの名所」巡りフォトコンテスト 優秀賞；作品名「春の競演」
撮影者：川口正光 撮影場所：舟川べり（朝日町）

目次

- ・花と緑の提言（県森林政策課） 2
- ・活動事例〈花がもたらす華効果（氷見支店）〉 3
- ・技術講座〈始めよう楽しい花壇作り1〉 4
- ・技術講座〈富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン[®]〉 5
- ・技術講座〈庭木に利用する樹種の特徴と管理—ヤマボウシー〉 6
- ・この人あり〈地域で育む花作りは仲間づくりから（立山支店）〉 7
- ・お知らせ 7



「花と緑の元気とやま推進プラン」について

富山県農林水産部森林政策課長

荒屋 健治

本年4月に森林政策課長に就任いたしました荒屋です。

新緑が目に見え鮮やかな季節となりましたが、花と緑の銀行の頭取・グリーンキーパーの皆様をはじめ関係の方々には、花と緑に彩られた美しい県土づくりに多大なご尽力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、本県では平成13年以降「富山県花と緑の新世紀プラン」のもと、県土の緑化を進めてきました。しかし「新世紀プラン」を策定してから10年以上が経過し、その間新しい総合計画「新・元気とやま創造計画」が策定され、北陸新幹線の開業が間近に迫るなど本県を取り巻く社会情勢も大きく変化しています。そこで平成24年12月に「花と緑の元気とやま推進プラン」を策定いたしました。

このプランは、平成24年から平成33年までの10年計画であり、目標に「花と緑と人が輝く元気とやまの創造」を掲げ、花と緑の指導者数（頭取・グリーンキーパー数）、花壇数等に数値目標を掲げています。

また、プランの特徴としては、花と緑を観光資源として位置づけていることです。平成26年春に迫った北陸新幹線の開業により、多くの方が富山県を訪れることが予想されますが、プランでは花と緑を魅力ある県土をPRするための手段として積極的に活用していくこととしています。例えば「おもてなしフラワー事業」により、駅や観光地にフラワーポツ

トを設置し来県者に良い印象をもっていただくことや、「富山さくらの名所70選」を全国に普及啓発し、さくらをツールに観光客の増加を図ります。



富山県で見つかったサクラの二期咲き性新品種「越の福かさね」写真提供 富山県中央植物園

一方でこうした花と緑の整備には、中心となって進め、支える方々の存在が不可欠です。本県には花と緑の銀行組織があり、県土緑化の主たる担い手として活動していただいております。しかし近年の急速な高齢化により、活動の停滞が懸念されています。

そこで、プランでは若年世代や退職期を迎えて間もない比較的若い世代に緑化活動への参入を促し、担い手の育成に取り組んでいきます。

花と緑に包まれた魅力ある県土をつくりあげるためには、頭取・グリーンキーパーの皆様をはじめ関係の方々の積極的なご参加が不可欠です。皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



平成25年度おもてなしフラワー事業（宇奈月温泉）

花がもたらす華効果 集い・語らい・和みの花作り

花と緑の銀行 氷見支店

速川地方銀行頭取 **上野秀夫**



春先4月中旬、花と緑の銀行氷見支店から配布を受けた小さな、小さなプラグ苗は約1カ月余をハウスで過ごした後、「大きくなって、奇麗に咲いて欲しい」との思いを込め、グリーンキーパーの優しい手でポット苗に変わります。



約2カ月後、元気に育った8千本余の花苗は地域花壇や家庭の庭先で、奇麗に咲き揃う事を願うグリーンキーパーのアドバイスを添え、速川校下全戸に配布されます。



平成22年、地域住民とグリーンキーパーの連携でスタートした「地域の花作り3カ年計画」は年を重ねる毎に地域全体の関心度も高まり、花苗の配布時に交わされる会話の内容も、花と花との相性から肥料や土壌作りに至るまで幅広く、グリーンキーパー

への質問もより専門性を問われる様になりました。

花作りは気候や手入れ次第で開花状態はとても顕著に現れます。「今年の花作り」期待と願いを込めた3年目、花の特徴や色合いを考えた苗選び、植え込み間隔は経験値、地域花壇作りには住民総出で取り掛かります。



たとえ、そこが何処であろうと花のある風景に人は癒されるものです。ましてや住民自らの手による地域花壇、花作りに寄せる思いが人々を花壇に引き寄せ、互いに育ちを確認し合い、皆が開花を待ち望む。地域花壇にはそんな不思議な華があります。

グリーンキーパーは「緑の担い手」、決して華やかとは言い難い、地道で根気の要する活動は、地域の至る所で咲き揃う花々に、人々が集い、語らい、和みの場を増やせるように、「豊かな緑の地」を提供する事にあります。

平成22年から始まった速川地区の「地域の花作り3カ年計画」は平成24年を持って終了しましたが、地域住民一人一人、花作りに寄せる思いがある限り、地域花壇や、家々の庭先には今年も色彩豊かな花々が咲き揃う事だろう。

花作りを通して「集い」の場所が出来る。

花作りを通して「語らい」が増える。

花作りを通して「和み」の輪が広がる。

そこに花がある風景と、花一輪に寄せる人々の思いを大切に、グリーンキーパーとして、地道で根気の要する活動をこれからも続けていきたい。

花壇の土づくりと植付け

富山県花総合センター

次長 金森松夫

園芸店に花壇用の苗がたくさん並ぶ頃となり、春播き一年草あるいは宿根草の植付けの適期を迎えました。素敵な花壇作りは誰にでもできます。オリジナルの楽しい花壇作りに挑戦してみてください。ここでは、花壇作りの一般的なポイントについて解説します。

1. 土づくり

草花は排水性の良い一方で一定の養分をもった水分を含んだ土を好みます。そのために、花壇作りは、定植の1週間～10日前までに実施する土づくりが重要な作業となります。

土作りの手順を示すと、

①よく耕す。

地表面から少なくとも30cm程度の深さまで十分に耕します。石や異物等取り除き、土の塊も砕いておきます。

②有機物を施用する。

完熟堆肥(3～4kg/m²)等で土壌を草花の好きな土壌に改良します。

③酸度を調整する。

初めて花壇を作る場合、全般に、土は酸性に傾いているので、苦土石灰(100g/m²)等石灰質資材を施用し、土と混和します。しかし、花壇の場所が固定し、毎年、石灰質資材を投与している場合は、PHが高くなっていることがあります。

ほとんどの草花は弱酸性(PH6.5)を好みますので確認ください。

④基肥を施用する。

化成肥料(70～100g/m²)を全面散布し、よく耕しながら混和します。

⑤整地・整畦

植え床は、15～20cmの高さとし、緩いカマボコ型に整形した後、排水路をしっかりと設けます。



・花壇の土を30cm程度は掘り起こす。

2. 植付け

花壇の植え床ができたなら、いよいよ花苗の植付けにかかります。

その前に、良い苗を選んでおくことが大切です。

①丈夫な花壇苗を選ぶ。

節間(葉と葉の間)が詰まって、ずんぐりとした苗は植付け後の生育も良好です。

また、根張りの良い苗は養水分の吸収力が強く生育良好でりっぱな花を咲かせます。

②上手な植付け。

・苗をビニールポットから出して植えますが、この時、土(根鉢)を崩さないように注意します。(ただし、根鉢の混んだものは、根をほぐしてから植えます。)

・植え床の土が湿り気のある状態で、晴天時に植付けます。

・植付けの深さは、ビニールポット苗の土の深さとし、極端な浅植・深植えは避けます。

・草花の種類にあった間隔で植えますが、一般的には20～25cmとします。



・植付け前に苗を配置して確認!

3. 植付け後の管理

①灌水

植付け後、株元を軽く押さえ苗を安定させ、たっぷりと灌水します。その後の灌水は天候によって加減が必要です。乾燥した日が続く場合は土の表面が白く乾いた時に実施します。

②施肥

一年草は基肥で充分の場合が多いが、生育期間の長い草花については、追肥します。

(化成肥料30～40g/m²)

③摘心

1株からたくさんの花を咲かせるための作業です。花がたくさんつくだけでなく、草丈が抑えられ、コンパクトな草姿になります。

富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン⑬

タイム・ロンギカウリス

タイムは、シソ科イブキジャコウソウ属の植物の総称で、葉に香りをもつ多年生植物です。一見、草のように見えますが茎はやがて木質化します。タイムは、ハーブとしてたくさんの種類が利用されていますが、花壇で一番おすすめするのは、地中海沿岸原産のタイム・ロンギカウリスです。乾燥した場所を好むタイムの中でも、この種類は日本の梅雨のじめじめにもよく耐え寿命も長いようです。

このタイムは、高く立ち上がることがないため、あつという間に地面を覆うように広がるので雑草の侵入を抑え、おまけに踏まれてもびくともしない柔軟性もあります。また、茎は地面を這うように伸びてゆき、節のところから短い根っこを伸ばし、土の栄養を取り込みながら前進してゆきます。むき出しの裸地があればどんどん浸入します。生長が早いので一株植えると、一年で座布団一枚分ぐらいに広がりますし、その上を歩くと葉がこすれてよい香りの粒が飛び交います。



写真1：タイム・ロンギカウリスの花
5月初旬

花は、桜色の小花が集まって、ほんぼりのように立ち上がり、5月の連休の頃には一面ピンクのカーペットのようになります（写真1）。イギリス人に愛されているシェイクスピアの作品、「夏の夜の夢」に、妖精の女王が住んでいる野生のタイムが咲き乱れる堤が登場します。その憧れなのか、イギリスのハーブガーデンを訪れると、いろいろな種類のタイムを混ぜて植えた色とりどりの花壇をよく見かけます。広い敷地をお持ちの方は、水はけが良くなるように山砂でゆるやかな土手をつくり、いろいろなタイム

職藝学院

教授 渡邊 美保子

を植えてみるのはいかがでしょうか。ロマンチックな香りの絨緞を楽しめます。



写真2：タイム・ロンギカウリスで縁取られた宿根草花壇
10月中旬

デザインのポイントは、一年中、緑の葉を保つため、花壇の縁取りとして帯状に植栽するのがよいでしょう（写真2）。その後ろに草丈がだんだん高くなるように一年草や宿根草を組み合わせると立体的になりますし（写真3）、冬になって花壇がさびしくなる時でも、手前は緑に縁取られているので花壇が引き締まります。好む場所は、日当たりがよく、水はけのよい土なら肥料はほとんど必要がありません。栽培のコツは、広がりすぎるため、ほかの植物と喧嘩をしないように、根をはがして間引いてあげることぐらいです。



写真3：タイム・ロンギカウリス、ワスレナグサ、
チューリップ、ピオラ 5月中旬

【お知らせ】

渡邊先生の技術講座のとりまとめを、花と緑の銀行ホームページで公開しています。宿根草を使った花壇作りの参考に是非ご活用下さい。 <http://www.bgtym.org/fgbank>

庭木に利用する樹種の特徴と管理ーヤマボウシー

日本樹木医会富山県支部

樹木医 西村正史

5月下旬から6月中旬にかけて里山では谷筋などで白い花をたくさん咲かせている木を見かけるかと思えます。これはヤマボウシという木です。近年庭園などに植栽されることが多くなっていますので、今回はヤマボウシを紹介します。

1. 特徴

この木は、ミズキ科ヤマボウシ属の落葉樹です。日本では本州と九州に、外国では朝鮮から中国に、それぞれ分布しています。樹高は成長しても5～10m程度です。日向を好みますが、半日陰でも育ち、寒さにも強い木です。この木はブナ林や里山の二次林内で、水はけがよくて適度な湿気がある肥沃な土壌でよく育ちます。

特徴のある花を咲かせますので、よく目立ちます(写真1、2)。4枚の花弁のように見えるのは総苞(そうほう)です。本来の花は総苞の中心に集まって咲いており、球のように見えます(写真1、2)。この球は秋になると赤く熟し(写真3)、おいしいので食用になります。葉は秋になると紅葉し、きれいです。花、実、紅葉と3回楽しむことができる優れたものです。

なお、和名は白い総苞が白い頭巾をかぶった「山法師」を連想することから付けられました。

2. 維持管理

この木は乾燥に弱いので、乾燥させないことが大切です。また、粘土質の土壌では根の張りが悪くなり、樹勢が低下しますので、土壌改良などをして水はけのよい状態にしましょう。庭木としては大きく育つので、周囲に十分な空間がとれる場所に植えましょう。このような場所では自然に樹形が整いますので、ほとんど剪定をすることはありません。肥料は落葉期の冬に油かすと骨粉を同量混ぜたものを株元に施しましょう。

ヤマボウシに近縁な種類として、街路樹や庭園でよく見かけるものに、ハナミズキがあります。本誌183号2012.5に記載しましたので、参考にしてください

い。また、富山県中央植物園内の「雲南の植物」コーナーにはヤマボウシによく似た花を咲かせるヒマラヤヤマボウシという珍しい木もあります。こちらの花の色は黄色です。

なお、掲載した写真はすべて富山県中央植物園で撮影したものです。



写真1 ヤマボウシの花 (2011.5.20撮影)



写真2 花の拡大写真 (2011.5.20撮影)



写真3 ヤマボウシの実 (2011.9.24撮影)



地域で育む花作りは仲間づくりから

花と緑の銀行立山支店

利田地方銀行 頭取 **米田 千恵子**

雪解けを待っていた花壇のチューリップやクロッカスが芽を出し、いよいよ私たちグリーンキーパーの出番となります。

活動場所は立山町立利田公民館前とその近辺です。春作業は土作りから。私は頭取といえども花作りには十分な力も無く、経験者の方々の指導を得て、駐車場に土を広げ、肥料や腐葉土を混ぜ合わせ、プランターに土を入れる者、運ぶ人、汗を流しながらもきれいな花が咲くこと楽しみに皆一生懸命です。

花の種類は毎年限られていますが、それでも配色や、位置を皆で考えて植え付けをします。水かけも全員一週間毎のローテーションで行い、追肥は花の生育に応じて施しています。

朝、水やりをしていると、小学生が集団登校してきます。「おはよう」と声を掛けると「おはようございます」と元気な返事。まだ眠そうな小さな声を聞きながらも、美しく咲いた花を見て、やさしい「思いやりの心」が少しでも多くの子供たちに育まれる

ことを願い、つい水やりにまで力がでます。

また、研修とは名ばかりで、野山に出掛ける計画はまだ実行出来ていませんが、会員の育てている珍しい花の「花自慢」はよく聞きますが（聞かされる・・・）、やっぱり「花よりだんご？」で親睦を深めています。

これからも、地区住民が集う公民館が四季折々に「きれいだね」と、一寸足を止めて花を眺めてもらえるように皆で力を合わせて、楽しく「花いっぱい、笑顔があふれる」地域づくりの一翼を担って行けたらと思っています。



【平成25年度花と緑のコンクール実施予定】

〈お知らせコーナー〉

平成25年度花と緑のコンクール実施予定

コンクール名	応募締切 ¹	一次審査（予選）	審査日
富山県花のまちづくりコンクール			
幼稚園・保育所花壇部門	7月10日（水）	各支店（市町村）で実施	7月18日（木）～7月19日（金）
学校花壇部門	7月17日（水）	各支店（市町村）で実施	7月25日（木）～7月26日（金）
花の道部門	7月24日（水）	各支店（市町村）で実施	8月1日（木）～8月2日（金）
一般花壇部門 ²	7月31日（水）	各支店（市町村）で実施	8月7日（水）～8月9日（金）
花と緑の標語コンクール	7月31日（水）	8月中	8月28日（水）
花と緑のポスター原画コンクール	9月10日（火）	9月13日（金）午前	9月13日（金）午後

¹ 各支店（市町村）で予選を実施する部門は、各支店に締切日を確認して下さい。

² 平成24年度から個人花壇については一般花壇及び花の道部門において審査対象となりました。

【花しょうぶ祭りの開催について】

県民公園頼成の森に親しんでいただくことを目的に、今年も6月21日（金）～6月30日（日）の10日間、「第28回頼成の森花しょうぶ祭り」が開催されます。詳細はホームページ等でお知らせいたします。

表紙写真：「富山さくらの名所」巡りフォトコンテスト 優秀賞；作品名「春の競演」

撮影者：川口正光（高岡市） 撮影場所：舟川ベリ（朝日町）

裏表紙写真：「オオカメノキ 5月中旬 黒部市宇奈月の烏帽子山にて」・・・写真提供 長谷川幹夫



「オオカメノキ 5月中旬 黒部市宇奈月の烏帽子山にて」



花と緑の銀行だより 187号

発行日 平成25年5月

編集発行 公益財団法人 **花と緑の銀行**

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森

〒939-1431 富山県砺波市頼成156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>